

平成 24 年度 全国学力・学習状況調査結果から見た

掛川の子どもたち

このリーフレットは、本年度実施された全国学力・学習状況調査における掛川の子どもたちの概要をお知らせし、家庭・地域・学校が連携して子どもたちの力を伸ばし、育てていくために作成したものです。

《調査概要》

調査実施日 平成 24 年 4 月 17 日（火）

対象調査 小学校：6 年児童 中学校：3 年生徒

調査内容 ○ 教科調査

・小学校調査（国語 A・B、算数 A・B、理科）

・中学校調査（国語 A・B、数学 A・B、理科）

A：主として「知識」問題 B：主として「活用」問題 本年度より理科を実施

○ 質問紙調査

・生活習慣や学習環境、規範意識、教科に対する意欲などについての 86 項目の質問

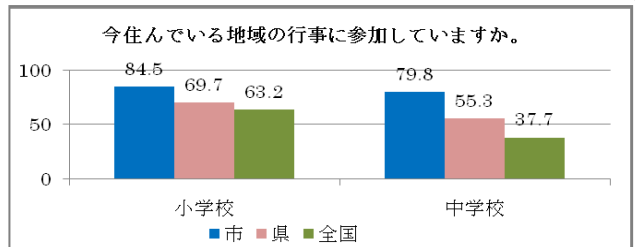
○ 学校に対する調査

・学校における指導方法に関する取組及び学校における人的、物的教育条件の整備の状況等に関する小学校 99 項目、中学校 96 項目の質問

質問紙調査からみた **生活や学習の状況** 全国・県と比べてよかったもの

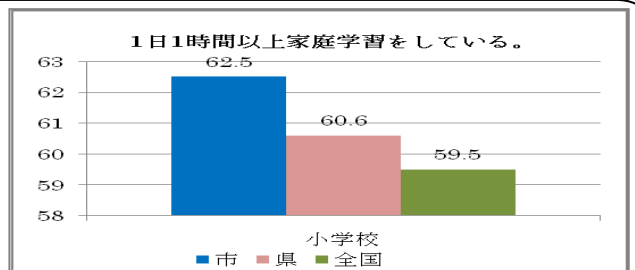
地域の行事に積極的に参加しています。

小学校 6 年生の 84.5%、中学校 3 年生の 79.8% が「積極的に地域の行事に参加している」と回答しました。子どもたちが地域で大切に育てられていることがわかります。



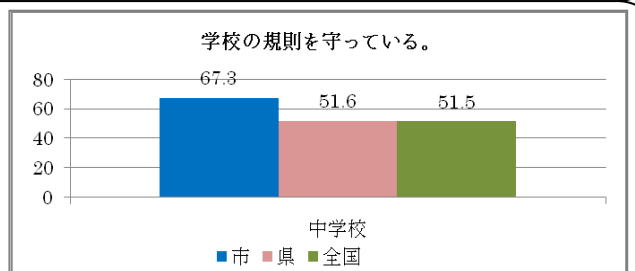
家庭でもしっかりと勉強しています。

小学校 6 年生では、「毎日（月～金）1 時間以上家庭学習をしている」子どもが多く、中学校 3 年生も 94.8% が、しっかりと「家で宿題をやっている」と回答しました。各家庭の協力により、学習習慣が身につけている子どもが多いことがわかります。



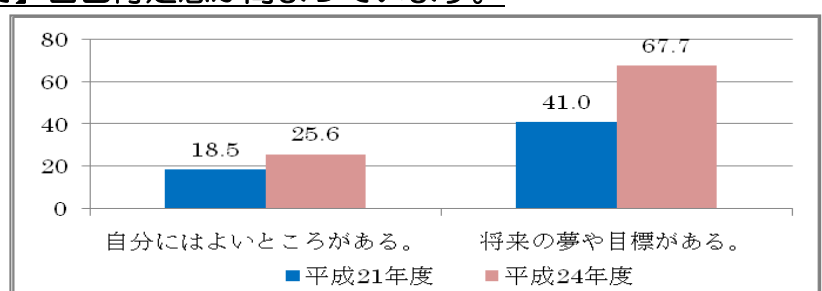
約束を守り、規則正しい生活をしています。

小学校 6 年生では、早寝早起きが身につけている子どもが多くいます。中学校 3 年生も「友だちとの約束を守る」「学校の規則を守っている」「近所の人に会ったときは、あいさつします」と回答した生徒が多くいました。



【3 年前の中学校 3 年生と比べて】自己肯定感が高まっています。

平成 21 年度の結果と比べ、「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標がある」と答えた生徒の割合が増えています。家庭・地域・学校が、それぞれの場面において、子どもたちのよさを認め、励ましている成果だと言えます。



国語全体の結果

小学校 「知識」に関する問題、「活用」に関する問題の平均正答率は、全国・県を若干下回りました。

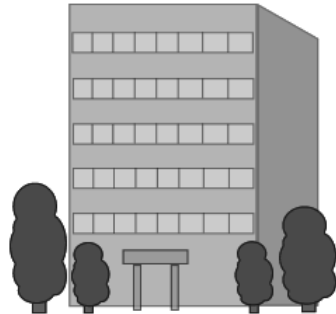
中学校 「知識」に関する問題、「活用」に関する問題の平均正答率は、全国・県を上回りました。特に「活用」に関する問題では、大きく全国・県を上回りました。

よくできた問題

【小学校】

次の___部の漢字の読みを、ひらがなで
ていねいに書きましょう。(知識)

新しいビルを建築する。



【中学校】

[作家の大岡 ^{あきら} 玲さんと女優の壇 ^{たん} ふみさんの対談の一部を読み、「これからどのような言葉の使い方をしたいか」を書く問題]

美しい (活用)
日本語とは

大岡 玲さん ×
壇 ふみさん



あまりできなかった問題

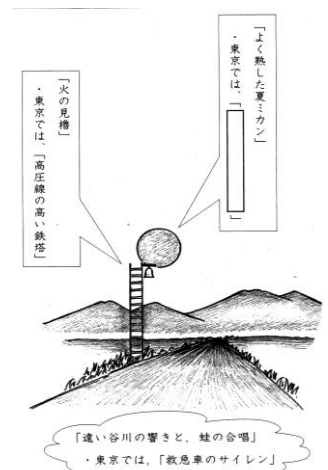
【小学校】

[陸上クラブの金子さんが選んだ記事の中で、二つの記事に書かれている内容を結びつけながら、条件に合わせて、自分の考えを書く問題](活用)

日本人選手の記録	
<p>(男子選手) 男子の日本記録をもつのは、高岡寿成選手。 2002年のシカゴマラソンで、2時間06分16秒の記録を出した。この記録は、世界第29位にあたる。(2011年7月現在)</p>  <p>▲高岡寿成選手</p>	<p>(女子選手) 女子の世界記録を上位10人まで見ると、次の選手たちもその中に入る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 渋井陽子選手 → 2時間19分41秒【世界第8位】(2004年 ベルリン) ◆ 高橋尚子選手 → 2時間19分46秒【世界第9位】(2001年 ベルリン)

【中学校】

(問題文中の)
___線部「この村の月は、まるでよく熟した夏ミカンだ」に使われている表現の技法を何と言いますか。三字以内で書きなさい。(知識)



さらに子どもたちの力を伸ばすために

- 自分の考えをまとめる力をつけるために、日ごろから新聞等を読み、内容を短くまとめたり、感想を書いたりしてみましょ。
- 知っている言葉を増やすために、生活の中でわからない言葉に出会ったときは、辞書を引いて、意味を確かめましょ。

算数・数学全体の結果

小学校

「知識」「活用」に関する問題ともに、県の平均正答率を上回りました。しかし、全国の平均正答率は下回りました。

中学校

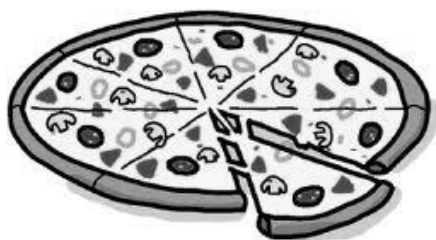
「知識」「活用」に関する問題ともに全国・県の平均正答率を上回りました。特に全国の平均正答率に対しては、大きく上回りました。

よくできた問題

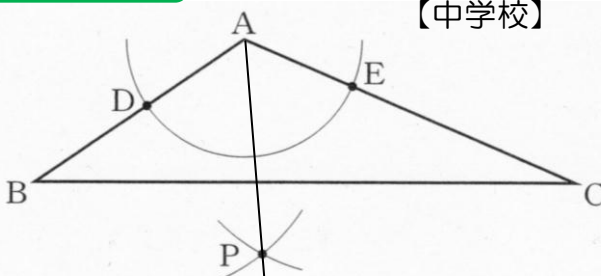
【小学校】

次の計算をしましょう。(知識)

$$\frac{3}{7} - \frac{2}{5}$$



【中学校】



直線APについて、△ABCがどんな三角形でも成り立つことからを選びなさい。(知識)

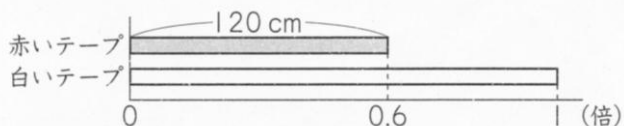
- ア 直線APは、頂点Aを通り直線BCに垂直な直線である。
- イ 直線APは、頂点Aと辺BCの中点を通る直線である。
- ウ 直線APは、直線BCに平行な直線である。
- エ 直線APは、∠CABの二等分線である。

あまりできなかった問題

【小学校】

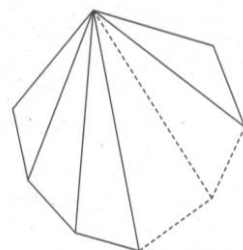
赤いテープと白いテープの長さについて、次のことがわかっています。
 「赤いテープの長さは120 cmです。」
 「赤いテープの長さは、白いテープの長さの0.6倍です。」

白いテープの長さを求める式を書きましょう。(知識)



【中学校】

n角形は1つの頂点から引いた対角線によって、いくつかの三角形に分けられます。このことから、n角形の内角の和は $180^\circ \times (n-2)$ で表すことができます。この式の(n-2)は、n角形において何を表していますか。



- ア 頂点の数
- イ 辺の数
- ウ 内角の数
- エ 1つの頂点から引いた対角線の数
- オ 1つの頂点から引いた対角線によって分けられた三角形の数 (知識)

さらに子どもたちの力を伸ばすために

- 数量の感覚を磨くために、生活の中のいろいろなものの長さや広さ、重さを予想しながら実際に測ってみましょう。
- 数学の思考を鍛えるために、自分の考えやその理由を友だちにわかりやすく説明しましょう。また、1通りの考え方だけでなく、もっとよい方法がないか考えましょう。

理科全体の結果

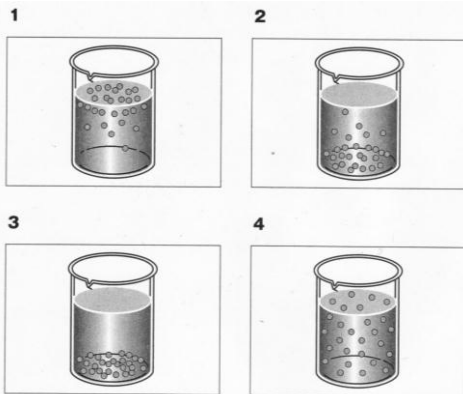
小学校 「知識」「活用」に関する問題ともに、県の平均正答率を上回りました。しかし、全国の平均正答率は下回りました。

中学校 「知識」「活用」に関する問題ともに全国・県の平均正答率を上回りました。特に全国の平均正答率に対しては、大きく上回りました。

よくできた問題

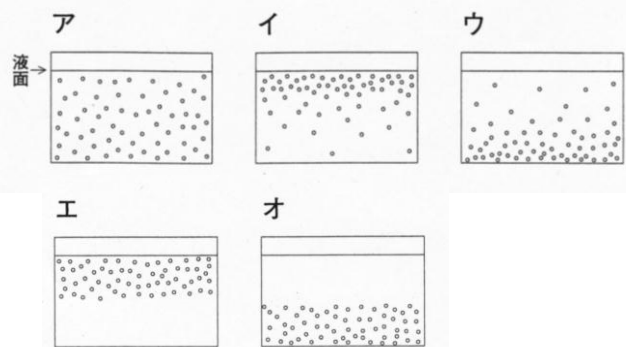
【小学校】

[砂糖水に溶けている氷砂糖の様子について、実験結果から適切な図を選び、選んだわけを書く問題] (活用)



【中学校】

和宏さんの考えについて、液体中の食塩の粒子をモデルで表すとき、その液体の様子を表す図をアからオまでの中から1つ選びなさい。(活用)

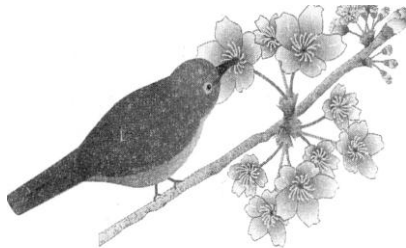


あまりできなかった問題

【小学校】

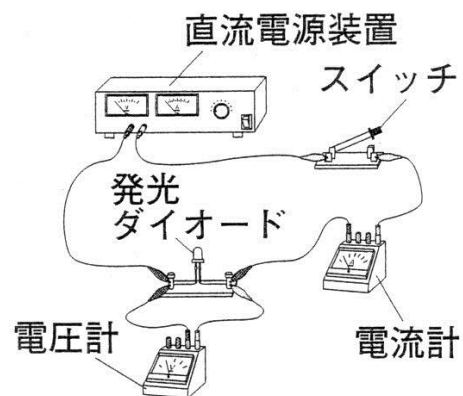
サクラは、ちがう木のサクラの花にあるおしべの花粉がめしべの先につくと、やがて実ができます。(後略)

(問題)「おしべの花粉がめしべの先につく」ことを表す言葉を書きましょう。(知識)



【中学校】

[1つの回路で、2つの実験と同じ結果を得るための測定方法を説明する問題] (活用)



さらに子どもたちの力を伸ばすために

- 理科の授業で学習したことを、自分の生活の中でも探しましょう。そして、生活の中からたくさんの「不思議(なぜ?)」を見つけましょう。
- 授業で行う実験や観察を自分の力でを行い、その変化の意味や理由が理解できるまで考えたり、友だちと話し合ったりしましょう。

子どもたちの生活と学力の関係を比べてみると

5

次のような子が、国語や算数・数学、理科の平均正答率が高い傾向にあります。

【小学校中学校共通】

- 地域の行事に積極的に参加したり、近所に人に進んであいさつをしたりしている。
- 友だちとの約束をしっかりと守っている。
- 学校の決まりをしっかりと守っている。
- 家で、宿題や予習、復習をしている。

【小学校】

- 物事を最後までやり遂げて、うれしかったことがある。
- 「いじめ」は絶対によくないと強く思っている。
- 人の役に立つ人間になりたいと思っている。

【中学校】

- その教科ができるようになりたいと思っている。
- 自分の考えを積極的に発表している。
- 自分の考えを書くときに、考えの理由がわかるように気をつけて書いている。
- 問題の解き方がわからないときに、あきらめないで、いろいろな方法を考えてみる。

「学校に対する調査」から見た掛川市の小・中学校の特徴

次のような点で、全国・県に比べて掛川市の学校は高い数値でした。

【小学校】

- 朝読書の時間を設けている。
- 学校や地域であいさつをするように指導している。
- 中学校区の幼稚園・保育園・幼保園、小学校、中学校の交流を行っている。

【中学校】

- 自分の学校の3年生は熱意を持って勉強をしていると感じている。
- 朝読書の時間を設けている。
- PTA や地域の人が学校の諸活動にボランティアとして積極的に参加してくれている。

さらに子どもたちの力を伸ばすために

- これまで通り、地域の行事や活動に積極的に参加させましょう。
- 「よいこと」をしたらたくさんほめましょう。「よくないこと」をしたときには、何が良くないかを説明し、しっかりと教えましょう。
- 早寝早起きや、毎日ちゃんと朝食をとるなど、家庭での生活習慣をしっかりと身につけさせましょう。
- 豊かな体験、視野を広げる働きかけをたくさんしましょう。

掛川市教育委員会学校教育課 〒436-8650 掛川市長谷一丁目1番地の1

TEL 0537-21-1156

E-mail:gaku-kyoiku@city.kakegawa.shizuoka.jp